

2024年 JMRC 中部ラリーセミナー開催報告

開催日 : 2024年8月24日(土)
 場所 : 豊田市稻武地区
 セミナー内容 : スペシャルステージラリーの安全を主としたラリーセミナー
 受講者 : 11台、22名
 (8/1~8/15 申込期間)



募集要項にどちらかがSSラリー経験者とあったが、SSラリーに参戦経験が有る受講者、ラリー未経験の受講者共にいた。
 JMRC 中部加盟 両名加盟=3台 1名加盟=1台 非加盟=7台

参加車両	: 全員ラリー参戦予定車両で受講	
参加費用	: JMRC 中部会員 8,000円/台(弁当 飲物付) JMRC 中部非会員 10,000円/台(弁当 飲物付)	
プログラム	9:00~ 9:15 受付 豊田市稻武支所 2F 9:15~ 9:20 開会式 稲武支所 2F 9:20~10:20 スペシャルステージラリー安全について講話 稲武支所 2F 10:25~11:00 緊急時対応の実演 稲武支所駐車場 11:15~11:30 質疑応答、模擬ラリーの説明 稲武支所 2F 11:30~12:20 コース下見(30 km/h 以下) 昼食 稲武支所 2F 13:10~13:20 移動 稲武支所→田口高校跡 13:30~ 模擬ラリー1号車スタート 田口高校跡 15:30~ 模擬ラリー1号車フィニッシュ 稲武支所駐車場 16:00~17:00 模擬ラリー後の質疑応答 稲武支所 2F 17:00~ 閉会式(予定) 稲武支所 2F	
運営	: JMRC 中部ラリーハンズ会員 4名 JMRC 中部加盟クラブ員協力 18名(SHIROKIYA、MASC、TASC、(ADVICS)) SHIROKIYA、FASC 備品借用	

【総括】

11台 22名に受講頂き、講話・実技を通じて新たな気付きを受講者、運営共に得られて有意義なセミナーになったと感じる。百戦錬磨のオフィシャルメンバーの多大なる御協力でタイムスケジュール通りに運営出来たことも受講者の満足につながったと思う。

通常ラリーに出ていてもアクシデントには遭遇し難く、一方で遭遇した時には二次災害を防ぐために素早い判断と行動が必要になることから、このセミナーでは安全重点を置いた内容とした。より自分事としてとらえられるよう、実技や模擬ラリーをカリキュラムに組み込んだ結果、規則を読んだだけではわからない疑問点を実際に体験していただくことが出来、その場で疑問を解決することで、ラリーに出るときの不安解消の一助になったと思われる。受講者の反応は、事後アンケートを取って確認(P.4に要約を掲載)次回のセミナーに活かす予定。

【セミナー内容】

■安全についての講話 60分

- ・国内競技規則の紹介
- ・国内車両規定第2編第2章安全規定の紹介
- ・特別規則書の安全について紹介
⇒インターネットHPで規則見られる。
選手権、特別規則書によって規則の違い
更新の可能性が常にあることの注意喚起
- ・罰則の説明
- ・30条安全装備の説明
- ・車両装備品の説明
⇒三角停止板の組み立てのトライ、置き場所の指示。
- ・装備品の固縛の徹底
- ・ハンス、ハイブリッドのテザー調整
- ・31条一般規定の説明
- ・保険の説明
- ・SS走行中の赤旗の説明
- ・SS走行中のアクシデントOK/SOSの説明
⇒特に出し方の注意
OK/SOSボードに代わるジェスチャー



■緊急時対応実演(1台ずつ) 35分

- ・ヘルメット、シートベルト装着具合のチェック
 - ・受講者の実演をラリー部会員でチェック
 - ・リタイヤ届等の記入、確認
- 実演後の質疑応答において、
下記コメントをフィードバックしてアドバイス実施
(チェック者コメント)
- ・車から降りてOK/SOS、三停板を出すまでが遅い
⇒1分で後続車両が来ることを念頭に、訓練・出しやすい配置が必要
 - ・停止車両から三停板設置まで50mに対して短い。20m~40mが多かった
 - ・OKボードを出せていない
 - ・三停板の組立に手こする
⇒練習が必要
 - ・DR,CoDRでクルー同士の安全確認の声かけと役割の声掛けしているクルー有り
⇒全員参考にしたい
 - ・車両から離れる際にドア閉める
⇒後続車の通行の妨げにならないように
 - ・三停板を置く位置が道の両サイド
⇒停車車両側に置くこと
 - ・OKマークに加えて、スローダウン等のジェスチャーがあるとなおよい
 - ・OKマークの向き(上下逆さ)
⇒表裏は特に気を付けること



■模擬ラリー 120 分

ラリー部会員がエントラントに扮して、模擬リタイヤ。OK1回とSOS1回提示し、STOPでの報告内容、SOS現場での対応をチェック。
模擬ラリー後の質疑応答でフィードバック。

(チェック者コメント)

- ・OK 目視出来たが、三停板の数、ゼッケン、車種、色、距離、停車の状況を上手く伝えられない。
- ・SOS で全車止まった→その後どうして良いのかが分からず、SOSを持った集団が集まる。
- ・SOS の旨を STOP に伝えに行つたが、状況を上手く伝えられなかった。
- ・SOS 火災と聞いたので、消火器とコドラを置いて STOP へ伝えに行った。
- ・最終 TC で早着 OK とアイテナリーに書いたが、気づいたのは 11 名中 5 名。
- ・パルクフェルメでトランクを開閉。



(フィードバック)

全て安全最優先の上で、下記が出来ると救助判断、ラリー進行がスムーズ。

- ・停止車両がいた場所の距離のチェック。
- ・停止車両の状況報告。
- ・停止車両の特徴（ゼッケンがはっきりしない場合）。
- ・SOS の情報 火災なのか人命なのか？
- ・SOS 後続車となった時の対応。4台目以降のエントラントの行動。
- ・三停板の置く位置の議論。
- ・火災時の消化器の提供。
- ・コマ図の見方。
- ・最終 TC のチェックイン(早着 OK)の気付き パルクフェルメの扱い。

■その他、受講者からの質疑

- ・消火器使ってしまった際のその後の SS の処置
⇒現状ルールではオフィシャルの指示に従う。
- ・解釈悩まないような統一規則、見解化を要望。
(発煙筒、赤色灯の例)
- ・後方サイドウインドウの通気口は OK か?
⇒公認部品は OK。それ以外は本来 NG
(後で確認。国内ラリー車両規定には
規定されていないため、基本的には NG)

【補足】

国内ラリー車両規定は、通期口について
規定されていません。

各イベントの技術委員の指示に従ってください。

ドライバーの話を聞きたいグループとコ・ドライバー
の話を聞きたいグループに分かれて意見交換



■参加者の反応(要約版)

開催後、グーグルフォームにて参加者を対象にアンケートを実施。

22名中11名の方に回答いただきました(回答率 50%)

ご回答いただいた方、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

○イベント全体の満足度

非常に満足との回答が8割以上を占めており、多くの参加者が「期待を上回った」と回答。イベントの各要素(安全講習座学・実技、模擬ラリー)についても高評価が寄せられました。

【安全講習座学】11名中8名が「満足」と回答。初心者を対象とした安全に特化した講義内容が分かりやすく、実戦に活かせそうとのコメントあり。

【安全講習実技】11名中10名が「満足」と回答。座学で学んだことを実際にやってみることで気づきがあったとのコメント多数。

【模擬ラリー】11名中10名が「満足」と回答。実践的な内容で、講習で学んだことを実践できてよかったですとのコメント。

○期待値と実用性

【イベントへの期待】期待を上回ったとの回答を8割以上となりました。

【実戦においての優位性】役に立つとの回答をすべての回答者からいただきました。座学だけではなく、体験型の講習を取り入れたことが、大変好評でした。

○参加者のコメント(一部要約)

・体験型講習は他ではなかなか体験できず、有意義でした。アイテナリーやコマ図を使って具体的なルールや進め方を理解できたことで、理解が深まりました。タイムコントロールや基本ルールの体験型講習があれば、初心者も安心してラリーに参加できると思います。

・ラリーを始める際に確実に受講した方が良い内容であった。いざという時に役に立つ内容なので、また別の内容でも講習があれば受講したいと思う。

・実践する事でこそ、学べる知識があると思います。その様な知識を学ぶ機会は少ないとと思うので、より多くの人にこの講習会を受けてほしいと思いました。

・実技/模擬ラリーの前にもう少し系統立てた説明があるとより効果的なセミナーになると思う。

・コース下見用のロードブックがなく、はぐれてしまった。次回は下見のロードブックもあると初心者に対してもより親切だと感じた。

・後ろのほうでは、声が聞こえにくいので、マイク等の使用を希望します。